

平成30年度 洪水対応演習を実施します

羽越河川国道事務所では、出水期に向けて防災体制に万全を期することを目的に、県市村の関係機関と合同で洪水対応演習を実施します。演習では、県市村等の水防関係機関への水防警報・洪水予報等の情報伝達、大石ダム・横川ダム等の操作状況の確認及び情報伝達、被災箇所の復旧までの流れ等について実践的な演習を行います。

昨年度の状況



日 時：平成30年4月20日（金） 9:00～17:00

場 所：羽越河川国道事務所 河川情報室（1F）

主 催：荒川水防連絡会

参加機関：羽越河川国道事務所、新潟県村上地域振興局、新潟地方气象台、
村上市、関川村、胎内市、荒川水力電気株、赤芝水力発電株、
東北電力株、荒川沿岸土地改良区、河川情報センター

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ
新潟日報社（村上支局）
村上新聞社
いわふね新聞社
NHK新潟（村上報道室）
その他専門紙

問い合わせ先



国土交通省 北陸地方整備局
羽越河川国道事務所
副所長（河川）：松井 涉
調査課長：近藤 栄一
TEL：0254-62-3211（代）

洪水対応演習実施項目

(1) 水防業務の確認及び情報伝達の演習

- ① 関係機関への洪水予報、水防警報等の情報伝達の演習
- ② 洪水予測(水位予測)の演習
- ③ ホットライン(電話)による情報共有の訓練
- ④ ダム・水門など河川管理施設等の操作ルール・操作状況確認及び情報伝達確認
- ⑤ 地域の的確な判断・行動につながる情報等の提供について(80mm/hルール等)
- ⑥ 水防活動に関する情報の集約・発信の演習
- ⑦ 工事現場関係者との情報伝達演習

(2) 洪水被害を最小限に食い止めるため洪水対策演習

- ① 被害状況把握
- ② 緊急復旧計画の検討
- ② 関係機関との調整